

てとてだより



第3号
令和6年12月13日
子ども支援班

イベントのお知らせ

1月18日(土)に本校体育館でアフリカンドラムの体験教室があります。配付したお知らせをご確認の上、ぜひお申し込みください。申し込みの締め切りは12月24日(火)です。



みんなの掲示板

本校事務室前にみんなの掲示板を設置しています。保護者の皆様に見ていただきたいお知らせを貼りだしてありますので、送迎や面談の際には、ぜひお立ち寄りください!



「バリアフリーフェスタ」に参加しました

11月2日(土)横浜そごうで開催された『バリアフリーフェスタ』に神奈川県教育委員会のブースとして「ボッチャ体験コーナー」を開設しました。今年度は本校と瀬谷支援学校がレクチャー役となって、来場された方々に「ボッチャ」のミニ体験をしてもらいました。小さいお子さんを連れてご家族やご高齢の方など多数の参加者があり、こちらの呼び込みに応えて約100名の方がボッチャを楽しんでくれました。

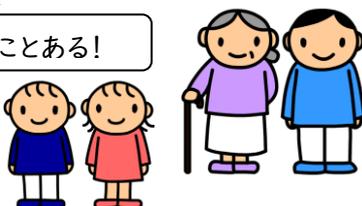
～参加者の声～

テレビでは観たことあるけど、やったことはない!

地域で行う余暇活動として考えてみよう!

学校でやったことある!

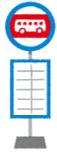
地域でやっているのだから参加してみよう!



改めて生涯スポーツとしての「ボッチャ」が誰でも、誰とでも楽しめる身近なものとして広まってほしいと感じました。簡単だけど、奥が深い「ボッチャ」は、本校でも児童生徒が学習活動で行っています。地域の活動などご家族で参加できる機会があれば、ぜひお子さんと一緒に体験してみたいはいかがでしょうか。

ボランティアさんの話 — 現在募集中です(^^♪

本校ではこれまで ボランティアやゲストティーチャーとしていろいろな方に力を貸していただきました。



通学見守り



楽器演奏



学習支援



配膳下膳お掃除



作業学習

本校からのボランティア募集は社会福祉協議会を通じて出しています。具体的には 給食の配膳下膳や食堂の清掃、作業学習の支援（農園芸など専門的な知識もお借りしたいです）、読み聞かせ、手品など…子どもたちの学校生活に関わって、楽しい時間を過ごしていただける方を求めています。

どんなことをしたらいいのかな、ボランティアをやってみたいと思われる方、保護者の方でもお知り合いの方も歓迎です。ぜひ、ご連絡の上、一度学校見学においでください。

【問合せは支援室まで 045-714-0126】

子どもの「思い」を育てる支援について お話を聞きました ~研修のおすそ分け~



放課後等デイサービスなどの事業所が主催する研修会に参加しました。どうしたら障害のある子どもの「発信」や「思い」が育つか、また、子どもの意思表明権の尊重について考える内容でした。

学校で、放デイ事業所で、ご家庭で子どもたちはいろいろな顔を見せてくれますね。笑顔もあれば“やりたくない”や“嫌い”を態度や声で伝えてくることも。そんなとき、皆さんはどうしていますか？子どもの意思を尊重しつつも、「これをやってくれないかな、今は〇〇の時間だしなあ」と、悩むことはないでしょうか。その子の思いを大切にしたいけれど、他の子や大人の事情もあるしなあと考えます。

今は小学生でも いつかは、どんなお仕事をするか、進路選択の場面もやってきます。その時になって“何をしたいの”と聞いても答えが出るでしょうか？ —いきなりでは難しいからこそ日々の積み重ねが大事です。

どちらを選ぶか、何をしたいか（したくないか）の練習場面を積み重ねる必要があります。ある放デイさんは日々のプログラムの中で調理メニュー選びを続けていると話してくれました。

また、周りの大人が子どもの意思表明を権利として大切にすることが必要だそうです。子どもが安心して意見を言えるように（これはすべての子どもに共通です!）どんな指導や支援ができるのか、子どもに関わる人たちと一緒にしっかり考えていきたいと思い研修内容をご紹介します。

Keyword をおすそ分け



子ども本人の思い 大切なことを言ってもいい相手とはどんなひと？
子どもの意思表明権 好きなもの探しは意思決定 子どもの意思決定力
神奈川県意思決定支援専門アドバイザー 淑徳大学 鈴木敏彦氏
神奈川県福祉子ども未来局 共生推進本部室 当事者目線障害福祉グループ

☆てとてだより 3号をお読みいただきありがとうございました。ご感想やご意見もお待ちしています。